

第1回佐久地域定住自立圏ビジョン懇談会 議事録

日 時：平成23年12月2日

13:30～14:50

場 所：野沢会館 2階 ホール

- 1 開 会
- 2 委嘱書交付
- 3 市長あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 佐久地域定住自立圏共生ビジョン設置要綱について

事務局より資料説明

- 6 会長の選出について
会長に松本委員を互選

7 会議事項

- (1) 佐久地域定住自立圏について

事務局より資料説明(資料1・2)

質疑なし

- (2) 佐久地域定住自立圏共生ビジョン(案)について

事務局より資料説明(資料3)

質疑

(委 員)	それぞれの取組みで調査研究・会議とあるが、市町村の職員が行うという意味か。
(事務局)	内容によって集まる対象も変わる。例えば、情報化の推進で市町村のコンピュータシステムの共同利用・開発を進めるというものは、市町村の情報担当職員が集まって調査研究を進める。不登校児童生徒の支援や農業情報の共有などは、今後、関係市町村との協議により対象を決定していくが、不登校支援や農業に関わっている人も対象になってくると考えている。
(委 員)	6ページにある小諸市の「LOHAS」とはどのようなものか。
(事務局)	6ページに用語の注釈を付けているが、「LOHAS」は小諸市に限らずに、健康と環境に配慮した持続可能な社会を目指すものであり、小諸市では、「こもろはす」というネーミングで、健康や環境に配慮したまちづくりを総合的に進めている。

(3) 意見交換

(委 員)	小諸養護学校の生徒数が増えすぎており、家庭内での教育が問題になってくる。生徒数が増えている一番の要因は、後天的なもので、例えば育った環境で精神的な疾患を抱えてしまった子どもたちが多 い。高校で入学を拒まれ、養護学校で引き受けざるをえない状況で ある。後天的な障害をもたれた子に対するケアについて、考えてい ただく場があるとよい。
(事務局)	ビジョン(案)の14ページにある発達障害児の支援体制の確立 と15ページにある不登校児童生徒等の支援に関する項目が定住自 立圏の中で話し合われていく。今後、関係市町村と協議してまいり たい。
(委 員)	年間の開催回数はどのくらいか。
(事務局)	今年度は2回から3回を予定している。来年度以降はビジョンの 見直しが必要になった都度になるが、年1回は開催したい。

(3) その他

事務局より事務連絡(委員からの意見の提出期限、次回日程)

8 閉 会